

主題：イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶことによって、
キリストのからだの実際の中で生きる

メッセージ 10

ささげ物の実際としてキリストを経験することによって、
キリストのからだの実際の中で生きる

聖書：Ⅱコリント5:21. Ⅰペテロ2:24. ヨハネ6:57. Ⅰコリント10:17. Ⅱコリント1:9.
エペソ1:21. 2:14-17. ピリピ2:17. ヘブル2:17-18. 4:14-16. 10:5-10. 啓1:18. 2:8

- I. キリストは、すべてのささげ物の成就、置き換え、実際です——ヘブル10:5-10。
- II. 罪のためのささげ物の実際として、キリストはわたしたちに代わって罪とされて、十字架で死んで、わたしたちという墮落した存在の罪深い性質を対処されました——Ⅱコリント5:21. ローマ8:3. ヨハネ3:14:
- A. キリストがわたしたちのために罪とされたのは、十字架上での彼の死を通して、罪が罪定めされるためです——レビ4:1-3, 13-14, 22-23, 27-28。
- B. キリストの死を通して、人の肉の中にあるサタンの邪悪な性質が蛇の形において十字架で裁かれたのは、信者が永遠の命を持つためです——ヨハネ3:14-16. 1:14. ローマ8:3。
- C. 罪を知らなかった方として、キリストはわたしたちに代わって罪とされましたが、それはわたしたちが彼の中で神の義となるためです——Ⅱコリント5:21。
- III. 違犯のためのささげ物の実際として、キリストはご自身の体において、わたしたちの罪を担い、十字架上で神によって裁かれて、わたしたちの罪深い行ないを対処されましたが、それはわたしたちが罪深い行為において赦されるためです——Ⅰペテロ2:24. 3:18:
- A. わたしたちの罪を告白して、違犯のためのささげ物としてキリストを取ることは、自分自身を命の交わりの中に保つ道であり、それはわたしたちが命において成長して、命の円熟へと至るためです——Ⅰヨハネ1:2-3, 5-9. 使徒24:16。
- B. キリストをわたしたちの違犯のためのささげ物として取って、(複数の) 罪の赦しを受けることは、わたしたちが神を畏れ、神を愛するという結果になります——詩130:4. ルカ7:47-50。
- IV. 完全に神の満足のためであり、神のための食物であった全焼のささげ物が表徴するのは、神の喜びと満足としてのキリスト、その生活が地上で神のために絶対的であった方としてのキリストです——レビ1:3. 民28:2-3. ヨハネ5:30. 6:38. 8:29:
- A. 全焼のささげ物としてのキリストの上に手を置くことによって、わたしたちは彼に結合され、彼とわたしたちは一になります。そのような結合において、わたしたちのすべての弱さ、欠陥、過失は彼によって負われ、彼のすべての美德はわたしたちのものとなります——ガラテヤ2:20前半。
- B. わたしたちは日ごとにキリストをわたしたちの全焼のささげ物として取る必要があ

ります。それはわたしたちが、全焼のささげ物としてのキリストの経験におけるキリストを経験するためであり、外側でキリストを模倣することなく、わたしたちの日常生活の中で彼を生きるためです——レビ1:2-4. 6:12-13. 参照、Ⅱテモテ2:6. Ⅱコリント5:14-15. ピリピ1:19-21. 使徒27:22-25。

V. 穀物のささげ物の実際として、キリストは彼の完全な人性において、神のための食物であり、また神と交わりを持ち彼に仕える者たちの食物でもあります——ヨハネ7:46. 18:38. 19:4, 6:

- A. 穀物のささげ物は神の食物であり、また特に、神と交わりを持ち彼に仕える者たちの食物である、人性の中のキリストを予表します——レビ2:2-4。
- B. もしわたしたちが穀物のささげ物としてのキリストを食べるなら、わたしたちは自分が食べたものとなり、食べたものによって生きます——ヨハネ6:57. Iコリント10:17。
- C. キリストにある信者として、またキリストの肢体として、わたしたちは穀物のささげ物としてのキリストの複製であるべきです——Ⅱコリント4:10-11. Iコリント10:17。

VI. 平安のささげ物の実際として、キリストは平和を造る者、わたしたちのために死ぬことによって、わたしたちと神との間の平和となった方です——エペソ2:14-15:

- A. キリストをわたしたちの罪のためのささげ物、違犯のためのささげ物、全焼のささげ物、穀物のささげ物として享受した結果が、キリストを平安のささげ物として享受することです——レビ3:1-2. 6:12. 7:37。
- B. キリストは、神と彼の民との間の平和であり、相互の享受となります——参照、Iコリント1:9。
- C. わたしたちはキリストのからだのために、キリストを平安のささげ物として経験する必要があります——エペソ2:14-17. 4:3. 6:15. コロサイ1:20-22. 3:15。
- D. 召会生活において、わたしたちはあらゆることで、あらゆる点で、あらゆる人と平和である必要があります。このために、わたしたちは平安の主が絶えず、あらゆる点で、わたしたちに平安を与えてくださる必要があります——ヘブル12:14. Iテサロニケ5:13後半. Ⅱテサロニケ3:16。

VII. 揺り動かすささげ物の実際として、キリストは復活した、生ける方です——啓1:18. 使徒2:24:

- A. 揺り動かすささげ物は、復活した、生ける方であるキリストを予表します——レビ7:30. 23:10-11. 啓1:18. 2:8。
- B. からだの肢体として、わたしたちは復活の中のキリストを経験して、復活の中へともたらされる必要があります——エペソ2:5-6. ピリピ3:10-11。
- C. 神は十字架を通して働いて、わたしたちを終結させ、わたしたちを終わらせていますが、それはわたしたちがもはや自分自身に信頼せず、復活の神に信頼するためです——Ⅱコリント1:9。

VIII. 挙げるささげ物の実際として、キリストは昇天と高く上げることで力強い方です——エペソ1:21:

- A. 挙げるささげ物、主の御前に挙げられたささげ物は、昇天と高く上げられることに

おけるキリスト、「すべて……のはるか上に」おられる方です——レビ7:14, 32.
エペソ1:21。

B. キリストは昇天において、万物の上にかしらとして召会に与えられました——22-23
節。

C. キリストは昇天における彼の天的な務めにおいて、神の臨在の中でわたしたちを担
い、神の願いにしたがって、わたしたちのすべての必要を顧みています——ヘブル
2:17-18. 4:14-16。

**IX. 注ぎのささげ物の実際として、キリストは神の満足のために、神の御前に、ぶどう酒
として注ぎ出された方です——ピリピ2:17 :**

A. 注ぎのささげ物は、神の満足のために、神の御前に、真のぶどう酒として注ぎ出さ
れた方としてのキリストを予表します——出29:40-41。

B. ぶどう酒は犠牲となるキリスト、彼ご自身のあらゆるものを犠牲にした方を予表し
ており、彼の犠牲から、彼は新しいぶどう酒を産出して、神と人を活気づけます——
士師9:13。

C. 注ぎのささげ物が予表しているのは、キリストご自身だけでなく、天的なぶどう酒
としての彼ご自身をもってわたしたちに浸透するキリストでもあり、ついに彼とわ
たしたちは一になって、神の享受と満足のために、また神の建造のために注ぎ出さ
れます——マタイ9:17. ピリピ2:17. II テモテ4:6。

© 2022 Living Stream Ministry